

 鹿児島大学構内遺跡 桜ヶ丘団地

遺跡名	鹿児島大学構内遺跡桜ヶ丘団地 (かごしまだいがく こうないいせき さくらがおかだんち)	
所在地	鹿児島市桜ヶ丘八丁目	
位置	北緯 30° 32′ 21″ 東経 130° 31′ 70″	
遺跡の概要	旧石器～縄文草創期	陥し穴、細石刃、石鏃
	縄文	早期住居跡、陥し穴、層位横転、土器（早期、前期、後期、晩期）、石器（石斧、石鏃、剥片石器など）
	弥生	前期住居跡、貯蔵穴跡、後期溝、土器（前期～後期）、紡錘車、石鏃、管玉
	古墳	溝、土器
	中近世	陶磁器（青磁、土師器、染付、備前焼、薩摩焼など）